

2 「少子化と就業女性の支援ネットワークに関する調査研究」報告書

目 次

1	調査研究の目的と方法・・・・・・・・・・・・・・・・	25
	(1) 目的と問題意識	
	(2) 調査研究の方法	
2	調査対象者の基本属性・プロフィール・・・・・・・・	27
3	調査・分析結果・・・・・・・・・・・・・・・・	30
	(1) 働く	
	(2) サポートネットワーク（子育て支援）の実態について 他都市との比較	
	(3) 子育て支援について	
4	平成20年度に向けて今後継続して分析すること・・・・・・・・	40

1 調査研究の目的と方法

(1) 目的と問題意識

全国の少子化の状況について、平成17年の合計特殊出生率は、1.26である。こうした中、国は少子化対策として、平成11年に新エンゼルプランを策定した。また、平成15年には少子化社会対策基本法を制定し、子育て支援を国全体の重要な政策課題に掲げている。とりわけ都市部では保育園待機者の増加などが取沙汰され、国も重点的な政策を打ち出そうとしている。しかし、その成果として少子化の回復には至っていない現況にある。

世田谷区の合計特殊出生率は、は0.82(平成18年人口動態からの推定値)で概ね横ばい傾向にあるが、平成13年からは転入により子どもの総数は増加傾向にある。

世田谷区は、平成16年度に「子ども条例」(平成14年施行)にもとづき子どもに関する施策を総合的に展開するため、子ども部を設け「世田谷区子ども計画」を策定した。同計画に沿って、平成17年度末に子育て支援の総合施設として「子ども子育て総合センター」を開設した。同施設は、親子が気軽に使える「子育てひろば」や保育園と幼稚園の機能を一体化した「経堂コドモの園保育園」、理由を問わずお子さんを預かる「ほっとステイ」、子どものショートステイ、子育てについて様々な講座やイベントを行う「世田谷子育てカレッジ」等を備えている。更に区は、出産予定1ヶ月前から生後6ヶ月の子育て家庭へヘルパーを派遣する「さんさんサポート」を始め多くの子育て支援策を講じている。また平成18年12月から中学校3年生までの医療費無料化を進め、平成20年3月には全国初の産後ケアセンターが区内に開設されるなど、「東京で一番子育てしやすいまち世田谷」の実現をめざしている。

これまでの既存調査によると母親は「子育てを通して子どもの成長に喜びを感じている」一方で、「自分の時間が持てない」「経済的身体的な負担を感じている」(平成17年男女共同参画調査、平成16年国調査)。その中で、子育ての重要な悩みを相談する相手としては、「配偶者、友人、親」が挙げられている。また、理想の子どもの数の平均が2.5人に対して、現実の子どもの数は平均で2.1人である。理想の子どもの数と現実の子どもの数にギャップがある理由としては、「子育てや教育への負担」などが指摘されている(平成17年国民生活白書、第一生命研究所)。実際、就労女性は「子どもが病気になった時の休暇制度など」へのニーズが高いが、小規模の事業所ではなかなか利用されていない(2006 第一生命研究所調査)。既存調査は、行政サービスや雇用環境、家族関係などそれぞれに調査のポイントがあり、これらのニーズと複雑に絡んでいる背景を総合的に分析するには至っていない。

本研究は、「都市社会におけるパーソナルネットワーク研究」を既婚女性の就業に応用し、少子化対策を視野に入れて「①就労継続の有無と同ネットワークの関係」「②その他、家族関係や所得などの基本属性や行政ほかの社会サービスなどの変数との関係を明らかにする」など

九州工業大学・首都大学東京との共同研究であり、社会学的な視点に基づいている。

区民の子育てに関する意識とその背景を自治体間比較や区内地域特性などを社会学的手法により明らかにし、どのようなニーズに対してどのような子育て支援が有効であるか、その支援の主体や方策などの政策素材づくりを行う。そのため、区がこれまで把握してきた調査結果などを分析しながらさらに独自調査を加えて、一層の有効な子育て支援をめざして調査研究を進める。

(2) 調査研究の方法

当調査研究の方法は、郵送による区民への質問紙調査(「少子化と就業女性の支援ネットワークに関する調査」)を実施し、関係する所管課と共同して分析内容を決定し、社会学的手法により分析する。

研究体制

せたがや自治政策研究所を中心に、子ども部子ども家庭支援課、生活文化部文化・国際・男女共同参画課、産業政策部工業・雇用促進課とともに首都大学東京、九州工業大学の協力のもとで研究を進めた。

質問紙調査

- ①調査対象者:理論母集団は、世田谷区在住で、平成7年4月2日以降を出生日とする子どもを持つ女性。そのうち、3000名を無作為抽出し、調査対象者とする。
- ②調査方法:住民基本台帳を用いた系統抽出法により3000サンプルを無作為抽出し、無記名調査票を郵送をもって送付し、回収する。
- ③調査時期:平成18年11月9日～26日 調査票発送、リマインダー(協力再確認の手紙)発送、締め切り ※ただし、締め切り日以降到着分も、有効回答票に含めた。
- ④回収率

調査票回収数・回収率		
調査対象者	小学生以下の子どもを持つ区内在住の女性3000人	
回収票数	1883票	(回収率 62.7%)
有効票数	1862票	(有効回収率 62.1%)

調査結果の集計・分析

調査結果を関係所管課と共同で分析内容を決定し、当研究所が社会学的手法により集計・分析し、関係する各所管課と議論し分析成果をまとめた。

2 調査対象者の基本属性・プロフィール

今回の調査回答者の基本属性から得られた、基本的なプロフィールについて明らかにする。
世田谷での子育て中の母親の姿が浮き彫りになる。

○母親本人、配偶者ともに比較的年齢層が高い

末子年齢の平均が、5.05 歳であるにもかかわらず、母親本人の平均年齢は 38.1 歳であり、20 代の母親は全体のわずか 5.5%であった。これは、四年制大学・大学院卒の母親が 43.4%と多く、就学やその後の就業などで、結婚・出産年齢が高まっていると考えられる。また子どもの数が 2 人以内の世帯が 88.1 パーセントと多い。

本人年齢			配偶者の年齢		
20～24歳	7 人	0.4 %	20～24歳	2 人	0.1 %
25～29歳	95 人	5.1 %	25～29歳	57 人	3.2 %
30～34歳	398 人	21.5 %	30～34歳	268 人	15.2 %
35～39歳	615 人	33.3 %	35～39歳	461 人	26.1 %
40～44歳	518 人	28.0 %	40～44歳	538 人	30.5 %
45～49歳	186 人	10.1 %	45～49歳	313 人	17.7 %
50歳以上	30 人	1.6 %	50～54歳	96 人	5.4 %
有効回答数	1849 人	100.0 %	55～59歳	24 人	1.4 %
無回答	13 人		60歳以上	6 人	0.3 %
合計	1862 人		有効回答数	1765 人	100.0 %
平均年齢	38.1 歳		配偶者なし	87 人	
			無回答	10 人	
			合計	1862 人	
			平均年齢	40.4 歳	

子ども人数			末子年齢		
1人	838 人	45.1 %	0 歳	205 人	11.0 %
2人	800 人	43.0 %	1 歳	239 人	12.9 %
3人	199 人	10.7 %	2 歳	183 人	9.9 %
4人	20 人	1.1 %	3 歳	151 人	8.1 %
5人	3 人	0.2 %	4 歳	133 人	7.2 %
有効回答数	1860 人	100.0 %	5 歳	144 人	7.8 %
無回答	2 人		6 歳	134 人	7.2 %
合計	1862 人		7 歳	116 人	6.3 %
平均人数	1.68 人		8 歳	117 人	6.3 %
			9 歳	118 人	6.4 %
			10 歳	118 人	6.4 %
			11 歳	114 人	6.1 %
			12 歳	84 人	4.5 %
			有効回答数	1856 人	100.0 %
			無回答	6 人	
			合計	1862 人	
			平均年齢	5.05 歳	

本人最終学歴

中学校	19人	1.0%
高校	307人	16.6%
短大・高専	721人	39.0%
大学・大学院	802人	43.4%
有効回答数	1849人	100.0%
無回答	13人	
合計	1862人	

夫最終学歴

中学校	20人	1.1%
高校	254人	14.4%
短大・高専	156人	8.9%
大学・大学院	1328人	75.5%
有効回答数	1758人	100.0%
配偶者なし	87人	
無回答	17人	
合計	1862人	

○全体の52%の母親が専業主婦、配偶者の58%が専門・管理職

母親の半数は専業主婦で、仕事をもつ母親は事務職、専門職が多い。また配偶者は専門職・管理職の割合が半数以上ときわめて高い。

本人職種

専門職	314人	17%
管理職	35人	1.9%
事務職	317人	17.1%
販売職	92人	5%
生産工程・労務職	15人	0.8%
サービス職	107人	5.8%
保安職	4人	0.2%
無職	967人	52.2%
有効回答数	1851人	100%
無回答	11人	
合計	1862人	

夫職種

専門職	441人	25.3%
管理職	575人	33%
事務職	298人	17.1%
販売職	167人	9.6%
生産工程・労務職	106人	6.1%
サービス職	116人	6.7%
保安職	24人	1.4%
農林漁業従事者	3人	0.2%
無職	12人	0.7%
有効回答数	1742人	100%
配偶者なし	87人	
無回答	33人	
合計	1862人	

○世帯構成は夫婦と子どもの世帯が8割以上を占める。母子世帯は全体の約4%、

夫婦と子ども世帯が86%、三世帯同居は8.8%であった。

世帯構成

夫婦と子どもの世帯	1600人	86.2%
母子世帯	77人	4.1%
3世代世帯	163人	8.8%
その他	16人	0.9%
有効回答数	1856人	100%
不詳	6人	
合計	1862人	

○居住年数については、10年未満が6割弱であり、区外出身の母親が約8割、居住形態は、一戸建て持ち家をもっとも多く、続いて分譲マンション

居住年数は比較的短く居住年数が10年未満の母親は56%である。また中学時代から区内に居住していた(大人としての関係ができる年代から長く住んでいる)のは2割にとどまり、8割は区外の出身である。また、居住形態は持ち家・分譲マンションが6割弱と高いことがわかった。こうしたことから子育てなど世帯形成世代が転入し、住宅を所有するなど区内での安定居住の志向を伺うことができる。

区内居住年数

5年未満	566人	30.6%
5～10年未満	481人	26%
10～15年未満	324人	17.5%
15～20年未満	110人	5.9%
20～25年未満	73人	3.9%
25年以上	298人	16.1%
有効回答数	1852人	100%
不詳	10人	
合計	1862人	

居住形態

一戸建て持ち家	665人	35.9%
一戸建て借家	94人	5.1%
分譲マンション	418人	22.6%
賃貸マンション	331人	17.9%
都営・区営住宅	41人	2.2%
社宅・官舎・寮	165人	8.9%
アパート	115人	6.2%
その他	23人	1.2%
有効回答数	1852人	100%
不詳	10人	
合計	1862人	

中学卒業時居住地(区内・区外)

世田谷区内	385人	20.8%
世田谷区外	1468人	79.2%
有効回答数	1853人	100%
不詳	9人	
合計	1862人	

3 調査・分析結果

(1) 働く

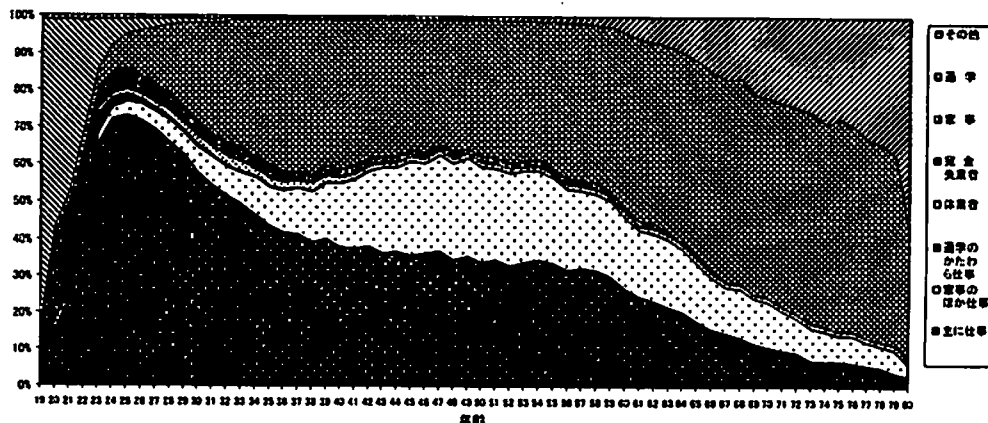
仕事と子育ては、今日の子育て支援の大きなテーマとなっている。そこで、今回、アンケート調査を実施するとともに、その結果と平成 17 年度国勢調査を組み合わせる様々な側面から仕事と子育ての現状を明らかにした。これらを見ると次ページの表から回答した母親の約半数は働いている。その半数の中で約 4 割がフルタイム就労、約 6 割がパートタイム就労である。就業先でみると区内で働いている7割がパートタイム、3割がフルタイム。逆に区外で働いている約 3 割がパートタイム、7割がフルタイムである。こうしたデータを重ね、世田谷区における女性の就業構造など、仕事と子育ての両立支援のための基本的なデータを集めた。

○世田谷区は非M字型雇用パターン(子どもが大きくなってからの就業復帰が少ない。)

女性の労働力人口比率の年齢別グラフをみてみると、34、5 歳あたりから、全国と比較すると家事専業の占める割合が顕著に多くなる。また、全国データでは、38 歳くらいから「主に仕事」「家事のほか仕事」とも増加傾向がみられ、M字型をなしているが、世田谷区では、特に「主に仕事」が年齢を経るごとに一貫して減少しており、結婚・出産で一度離職し、子どもが大きくなってから仕事に復帰するというM字型雇用パターンとは異なった就業構造を持っているといえる。

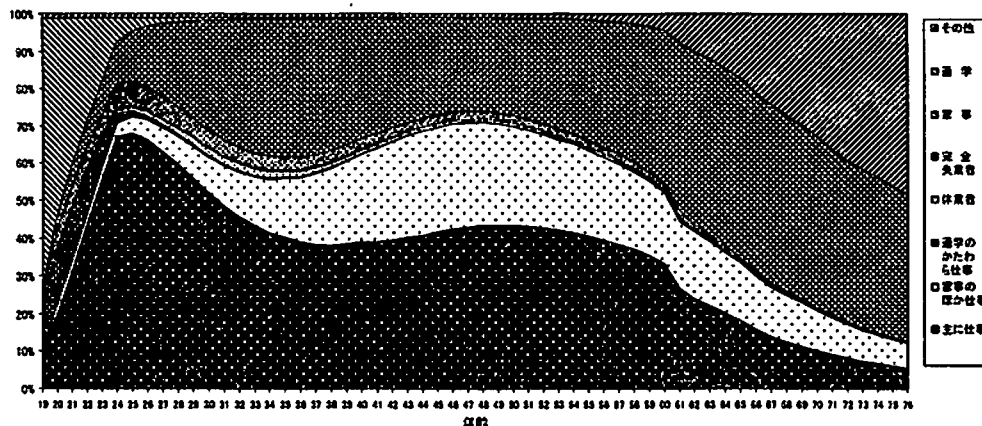
その傾向は、サンプルを子を持つ母親に限定して、末子の年齢別に就業率をグラフ化した図で確認するとより明瞭である。世田谷区は全国平均に比べて末子0歳時の就業率は高く、出産時の離職率は低いが、その後の就業率は全国比より低水準で推移しており、子どもが大きくなってからの就業復帰率が5割を超えるのは末子が11歳をこえた時期となり、全国の6～7歳の時期と比べて遅いなど、専業主婦になる傾向がある。

世田谷区内年齢別労働力人口(女性)



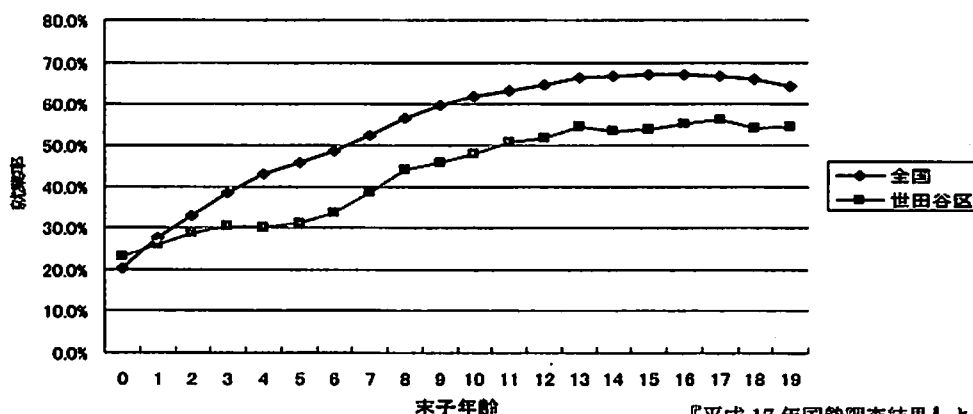
【平成 17 年国勢調査結果】より作成

全国年齢別労働力人口(女性)



『平成 17 年国勢調査結果』より作成

末子年齢別母親の就業率



『平成 17 年国勢調査結果』より作成

母親たちの就業状況

フルタイムで就業している母親は 18.8%、パートタイムでの就業が 20.6%、現在無職の母親が 52.2%で、その専業主婦の約 6 割がパートタイムでの就業もしくは自営業での就業を希望している。

母親の就業状況と就業希望

フルタイムで就業中	348 人	18.8 %	
パートタイム・アルバイトで就業中	381 人	20.6 %	
自営業で就業中	158 人	8.5 %	
現在無職	967 人	52.2 %	
合計	1854 人	100.0 %	
不詳	8 人		
総合計	1862 人		
			フルタイム希望 107 人 11.1%
			パートタイム・自営業希望 588 人 60.8%
			就業希望なし 272 人 28.1%

雇用形態に関わらず、職種はホワイトカラーが中心である。また本人年収はフルタイムの平均が 503 万円である一方で、パートタイムの平均が 96 万円と大きな差がある。

母親本人の雇用形態別 職種と年収

	職種					本人年収平均		
	専門・管理	事務	販売・サービス	生産工程・労務	合計	N	(万円)	N
フルタイム雇用	47.6%	40.5%	13.6%	1.2%	100.0%	348	503.1	346
パートタイム雇用	30.8%	35.8%	30.3%	3.2%	100.0%	380	96.0	378
自営業・家族従業者	45.2%	28.4%	24.5%	1.9%	100.0%	155	304.7	153
全体	39.4%	35.9%	22.5%	2.2%	100.0%	883	293.0	877

労働時間と通勤時間、勤務先

パートタイム雇用の母親の週労働時間は約 21 時間とフルタイム雇用の母親の半分程度。全体に通勤時間が短い、フルタイム雇用の 7 割が区外に就業先がある。パートタイム雇用は 6 割が区内に職場をもつ。通勤時間は、パートタイム雇用と自営業が平均 24 分と自宅の近くで就業しているだけではなく、フルタイム雇用も平均 43.4 分の通勤時間であり、都心に近く公共交通で結ばれている世田谷区の交通の便のよさが伺える。ただし区内での雇用確保という観点からみると、フルタイム雇用とパートタイム雇用はそれぞれ約 3 割弱、約 6 割強と全く異なる。

母親本人の雇用形態別 週労働時間・通勤時間・就業先

	週労働時間平均 (時間)		通勤時間平均 (分)		就業先区内比率	
	平均値	N	平均値	N	平均値	N
フルタイム雇用	43.4	331	43.6	338	28.0%	338
パートタイム雇用	21.0	356	24.0	357	63.0%	355
自営業・家族従業者	28.4	137	13.2	141	74.0%	144
全体	31.2	824	30.1	836	51.0%	837

悩み

フルタイムで働く母親は、パートタイム・自営業で働く母親と比較して、職場でストレスを経験する割合がやや高い。職業生活に関する満足度は、フルタイムとパートタイムでそれほど違いがみられない。

母親本人の雇用形態別 職場でのストレス・職業生活満足度

	職場での人間関係で悩んだこと		職場で「育児への理解が不足している」と思ったこと		職場での仕事の負担が大きすぎると感じたこと		職業生活の満足度	
	平均値	N	平均値	N	平均値	N	平均値	N
フルタイム雇用	2.22	339	2.09	338	2.36	339	2.25	331
パートタイム雇用	1.90	378	1.58	378	1.77	378	2.21	328
自営業・家族従業者	1.64	152	1.50	153	1.65	153	2.04	120
全体	1.98	867	1.77	867	1.98	868	2.2	779
変数の説明	「何度もあった」を4点、「ときどきあった」を3点、「ごくまれにあった」を2点、「全くなかった」を1点と操作化。						「非常に満足」を4点、「まあまあ満足」を3点、「やや不満」を2点、「非常に不満」を1点と操作化。	

「働いている人」「働きたい人」「働きたくない人」のプロフィール

現在無職の母親を、就業希望によって、フルタイムでの就業希望もしくはパートタイム・自営業での就業希望、就業希望なしの3カテゴリーに分ける。さらに、フルタイムで就業中の母親とパートタイム・自営業で就業中の母親も含め、5カテゴリーの母親で就業を希望する理由と家族的特性を比較する。

○世帯年収が高いのは、フルタイム就業中と就業を機能しない専業主婦。

世帯年収は、母親がフルタイムで就業している世帯で平均1140.6万円とずばぬけて高いが、母親が現在無職で専業主婦を希望している世帯では、配偶者の年収が非常に高いため、992.8万円と高い平均値を示している。またフルタイムで就業している母親の10%が離死別である。

就業状況・希望別基本属性

	平均末子年齢	平均年齢	平均世帯年収	平均サポートネットワークサイズ	核家族比率	離死別比率
フルタイムで就業中	4.4 歳	37.4 歳	1140.6 万円	5.05 人	93.0%	10.0%
N	347	346	346	348	345	347
パートタイム・自営業で就業中	7.0 歳	40.0 歳	869.7 万円	5.74 人	87.0%	8.0%
N	535	534	531	539	536	539
無職：フルタイム希望	3.6 歳	35.9 歳	821.9 万円	5.26 人	93.0%	4.0%
N	107	107	105	107	107	107
無職：パートタイム・自営業希望	4.2 歳	37.4 歳	879.5 万円	5.9 人	91.0%	1.0%
N	586	585	574	588	588	588
無職：就職希望なし	4.6 歳	37.7 歳	992.8 万円	6.38 人	92.0%	0.0%
N	260	259	255	261	261	261
合計	5.05 歳	38.1 歳	939.1 万円	5.72 人	90.0%	5.0%
N	1835	1831	1811	1843	1837	1842

※平均サポートネットワークサイズとは、支援してくれる人数、次ページ(2)を参照

○フルタイム就業を希望する理由は、経済的事情と社会貢献に分化。パートタイム・自営業もやりがい重視

フルタイムで就業している母親は、「働けるのは自分ひとりだから」「夫の収入のみでは生活できない」といった深刻な経済状況を就業理由に挙げている母親が4分の1いる一方で、社会貢献を就業理由に挙げる母親も15%と、必要に迫られて働いている母親とより高い達成感を求めている母親とに分化している。また、現在無職でフルタイム就業を希望している母親については、「自己実現のため」をその理由に挙げる比率が高い。

パートタイム・自営業で就業している母親の就業理由をみると、「増大する家計に対応するため」がもっとも多いが、「心の健康やはいののため」をあげる母親も多く、必ずしも家計の補助を目的とした就業ばかりではない点は着目すべきである。その傾向は、現在無職でパートタイム・自営業での就業を希望する母親にもみられる。

就業状況・希望別「働く・働きたい理由」

	「働けるのが自分ひとりでいいから」	「夫の収入のみでは生活できない」	「増大する家計に対応するため」	「将来に備えて貯蓄するため」	「自分自身の収入を確保するため」	「心の健康ややりがいのため」	「自己表現のため」	「社会との関わりを確保し、社会に貢献するため」	N
フルタイムで就業中	10.0%	14.0%	23.0%	5.0%	12.0%	11.0%	11.0%	15.0%	330人
パートタイム・自営業で就業中	6.0%	13.0%	30.0%	7.0%	12.0%	14.0%	10.0%	8.0%	496人
現在無職：フルタイム希望	3.0%	11.0%	28.0%	4.0%	11.0%	12.0%	21.0%	10.0%	107人
現在無職：パートタイム・自営業希望	0.0%	3.0%	35.0%	13.0%	9.0%	18.0%	10.0%	11.0%	579人
合計	5.0%	9.0%	30.0%	8.0%	11.0%	14.0%	11.0%	11.0%	1512人

(2) サポートネットワーク(子育て支援)の実態について—他都市との比較

世田谷区区外出身の母親が多く、またその親は近くに住んでいない。区外出身のため古い友人などは少ないが、子育てを介してできた友人は多く持っている。

世田谷で子育てをするために、母親たちは親などの親族、友人、或いは地域からどのような支援(以下 サポートネットワークと呼ぶ)を受けているかなど、区内出身の母親が少ない中で、こうしたネットワーク(支援の関係)の積極的な形成が子育てをする上で重要になってくる。ネットワークを計量調査で測定する場合、質問文の表現によってその回答内容が大幅に異なってくる。そこで、本調査では福岡市、徳島市を対象に行われた調査とほとんど同じ質問文を用いて、子育て世代の女性を対象に行われたサポートネットワーク調査のデータから、世田谷区の母親たちのサポートネットワークの特性について概観した。

参考データ「女性の就業とサポートネットワークに関する調査」(九州工業大学)

対象：福岡市と徳島市に居住する30～49歳の女性(各市2200人)

平成15年11月実施・郵送法

※以下では、12歳以下の子どもをもつ女性にサンプルを限定し比較した。

○子どもを介して知り合った人が占める割合が高い

一人当たりのサポートネットワークの平均数は、5.73人である。サポートネットワークの割合は、子どもを介して知り合った割合が17.5%、母親が占める割合が16.9%、夫が占める割合が14.6%の順である。また、配偶者有りのサポートネットワーク数が5.79人に対して夫と離死別された方は4.40人と少ない。

サポートネットワークサイズ(子育てを支援してくれる人数を示す)には3都市間で違いはないが、サポートネットワークの属性比率には違いがみられた。世田谷区は、他の都市と比べて、「子どもを介して知り合った人」が重要なサポートネットワーク5人に占める比率が高い。これは、福岡や徳島では親族や友人などと地元出身による支援の関係が深い一方で、区内出身者が少ない世田谷では子育て広場などを通じて、母親同士のつながりが地域に形成されている点を反映していると考えられる。

サポートネットワーク サイズ・間柄別比率 都市間比較

	世田谷区		福岡市		徳島市	
	平均値	度数	平均値	度数	平均値	度数
サポートネットワークサイズ	5.73	1862	5.74	148	5.75	167
サポートネットワーク間柄別比率						
夫が占める割合	14.6%	1806	14.4%	148	14.6%	167
母親が占める割合	16.9%	1806	14.4%	148	18.3%	167
父親が占める割合	8.4%	1806	6.6%	148	11.5%	167
夫の母親が占める割合	8.0%	1806	6.3%	148	12.7%	167
夫の父親が占める割合	3.6%	1806	3.5%	148	5.3%	167
子どもが占める割合	1.9%	1806	3.4%	148	2.3%	167
きょうだい占める割合	8.0%	1806	8.0%	148	8.6%	167
夫のきょうだい占める割合	1.6%	1806	2.3%	148	1.3%	167
その他の親せきが占める割合	3.1%	1806	2.5%	148	3.2%	167
近所の人が占める割合	5.9%	1806	8.4%	148	2.8%	167
職場関係が占める割合	3.0%	1806	4.9%	148	2.8%	167
学生時代の友人が占める割合	3.6%	1806	5.4%	148	4.7%	167
趣味のグループの人が占める割合	0.9%	1806	2.0%	148	0.6%	167
子どもを介して知り合った人が占める割合	17.5%	1806	13.9%	148	8.8%	167
その他の友人が占める割合	2.7%	1806	3.0%	148	2.0%	167

○夫の母親との同居率に比べ、自身の母親との同居・隣居率が高い

サポートネットワークとして重要な役割を果たすと考えられる親族関係の世田谷区の特徴は、親族ネットワークが地元を集積している徳島市と比較すると少ないものの、母親本人の母親と同居・隣居している比率が高く、母親がサポートネットワークに占める比率も高い点が挙げられる。また、夫の両親については、同居・あるいは隣居している比率が低い点も特徴である。

両親の居住地 都市間比較

	世田谷区		福岡市		徳島市			
	有効パーセント	度数	有効パーセント	度数	有効パーセント	度数		
母親の居住地	同居・敷地内	7.1 %	131	同居・敷地内別居	3.3 %	5	8.3 %	14
	15分以内	8.7 %	161	隣近所	8.6 %	13	9.5 %	16
	15～30分以内	6.4 %	118	それ以外の市内	17.8 %	27	26.8 %	45
	30分～1時間以内	13.9 %	257	県内	29.6 %	45	34.5 %	58
	1時間～2時間以内	21.8 %	404	県外	32.2 %	49	17.3 %	29
	2時間以上	35.6 %	660	亡くなった	8.6 %	13	3.6 %	6
	死亡	6.5 %	121	合計	100.0 %	152	100.0 %	168
	合計	100.0 %	1852					
父親の居住地	同居・敷地内	4.7 %	86	同居・敷地内別居	2.7 %	4	6.6 %	11
	15分以内	7.3 %	134	隣近所	6.0 %	9	9.0 %	15
	15～30分以内	5.4 %	100	それ以外の市内	16.7 %	25	25.1 %	42
	30分～1時間以内	11.0 %	203	県内	24.0 %	36	32.3 %	54
	1時間～2時間以内	19.1 %	352	県外	30.7 %	46	15.6 %	26
	2時間以上	32.7 %	602	亡くなった	20.0 %	30	11.4 %	19
	死亡	19.8 %	364	合計	100.0 %	150	100.0 %	167
	合計	100.0 %	1841					
夫の母親の居住地	同居・敷地内	9.1 %	157	同居・敷地内別居	10.6 %	15	26.7 %	44
	15分以内	7.9 %	136	隣近所	10.6 %	15	13.3 %	22
	15～30分以内	5.8 %	100	それ以外の市内	15.6 %	22	18.2 %	30
	30分～1時間以内	11.7 %	202	県内	18.4 %	26	25.5 %	42
	1時間～2時間以内	19.1 %	330	県外	36.9 %	52	11.5 %	19
	2時間以上	37.4 %	648	亡くなった	7.8 %	11	4.8 %	8
	死亡	9.1 %	158	合計	100.0 %	141	100.0 %	165
	合計	100.0 %	1731					
夫の父親の居住地	同居・敷地内	6.8 %	115	同居・敷地内別居	9.2 %	13	26.7 %	44
	15分以内	6.4 %	109	隣近所	9.9 %	14	13.3 %	22
	15～30分以内	4.7 %	80	それ以外の市内	15.6 %	22	18.2 %	30
	30分～1時間以内	9.3 %	158	県内	14.2 %	20	25.5 %	42
	1時間～2時間以内	16.5 %	281	県外	25.5 %	36	11.5 %	19
	2時間以上	31.8 %	542	亡くなった	25.5 %	36	4.8 %	8
	死亡	24.5 %	418	合計	100.0 %	141	100.0 %	165
	合計	100.0 %	1703					

(3)子育て支援について

サービスを利用するための主な情報入手先

現在区が進めている在宅子育て支援策の様々な事業に関する質問では、施策情報の入手先として数多く挙げられているのが、区広報紙であり、区広報紙を読む母親は幅広く施策について情報を手にしていることが明らかである。逆に、区広報紙を読まない母親は、子育て情報を知らないなど広報紙が施策の周知に重要な位置を占めているようだ。また、「さんさんサポート」については、母子手帳と一緒に配布されたパンフレットで、また、「病児・病後児保育」については、病院のポスター・パンフレットで知ったという回答が多く、このような区広報紙以外の方法による情報提供や働きかけが施策の認知に貢献していることがわかった。

またサービスを利用した経験はまだまた少ないが、今後利用してみたい、利用しなかったという意見が多かった事業は、「子育てひろば」や「ほっとステイ」などで、施策の周知がより広がることで利用ニーズが高まる可能性がある。

区子育て支援の認知

	子育て広場		ほっとステイ		子育てカレッジ		病児・病後時保育		世田谷子育てテレフォン		さんさんサポート		認定こども園	
区広報紙で知った	29.4%	548人	24%	446人	19.4%	362人	23%	429人	52.7%	981人	28.1%	524人	21.5%	401人
区ホームページで知った	3.4%	64人	3.1%	58人	1.8%	34人	4.6%	86人	5.2%	96人	3.5%	65人	3.7%	69人
友人に聞いた	9.7%	180人	7.7%	143人	1.5%	28人	4.2%	78人	1%	19人	4.4%	82人	5.4%	100人
親・家族に聞いた	0.3%	5人	0.2%	4人	0.1%	1人	0.6%	12人	0.6%	11人	0.5%	9人	0.3%	6人
その他で知った	5.3%	99人	4.5%	84人	1.7%	31人	12.5%	232人	8%	149人	10%	186人	4.5%	83人
知らない	51.5%	959人	60.1%	1119人	74.9%	1395人	54.7%	1019人	32%	595人	53%	987人	64.3%	1197人
無回答	0.4%	7人	0.4%	8人	0.6%	11人	0.3%	6人	0.6%	11人	0.5%	9人	0.3%	6人
合計	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人

区子育て支援の利用希望

	子育て広場		ほっとステイ		子育てカレッジ		病児・病後時保育		世田谷子育てテレフォン		さんさんサポート		認定こども園	
利用経験あり	13.1%	243人	2.4%	44人	1.5%	28人	3.2%	59人	5.7%	106人	4.7%	88人	0.7%	13人
利用希望・利用予定	16.6%	310人	18.2%	339人	19.1%	356人	18.3%	340人	19.2%	358人	10.4%	194人	12.7%	238人
利用してみたかった	27.3%	508人	27.1%	504人	22.8%	424人	19.6%	365人	16%	298人	30.9%	576人	21.2%	394人
利用したくない	18.2%	338人	23.4%	435人	21.4%	398人	21.2%	394人	18.9%	352人	20.6%	383人	24.2%	450人
わからない	23.1%	430人	27.4%	510人	33.1%	616人	35.6%	662人	38.1%	709人	31.3%	582人	39%	727人
無回答	1.8%	33人	1.8%	30人	2.1%	40人	2.3%	42人	2.1%	39人	2.1%	39人	2.3%	42人
合計	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人	100%	1862人

保育サービスなどの利用経験

フルタイムで就業している母親の7割弱、パートタイム・自営業で就業している母親の5割弱が、認可保育園を利用。また、認証保育所や保育室、ベビーシッターの利用率は、フルタイムとパートタイム・自営業ともに高い。専業主婦は、幼稚園の利用率が高い。

就業状況別 保育施設・保育サービスの利用経験比率(長子が5歳以下のサンプルに限定)

	区立保育園	認可の私立保育園	認可保育園(区立と私立の合計)	公立幼稚園	私立幼稚園	認証保育所	事業所内保育施設
フルタイム就労	50.0%	20.8%	65.2%	0.0%	2.2%	21.3%	2.2%
パートタイム・自営	27.0%	25.0%	45.0%	2.0%	20.0%	22.0%	2.0%
無職	4.3%	5.0%	8.8%	3.2%	30.0%	8.1%	1.6%
合計	18.7%	11.6%	27.7%	2.2%	21.7%	13.3%	1.8%

	保育ママ	保育室	無認可保育施設	ベビーシッター	ふれあい子育て	いずれも利用したことはない	N
フルタイム就労	2.8%	10.7%	8.4%	14.6%	9.0%	16.9%	(178人)
パートタイム・自営	2.0%	16.0%	9.0%	14.0%	8.0%	17.0%	(100人)
無職	0.2%	3.8%	6.3%	6.8%	8.6%	47.7%	(444人)
合計	1.1%	7.2%	7.2%	9.7%	8.6%	35.9%	(722人)

保育サービスなどの利用希望

利用希望に関しては、フルタイム就労の母親は認可保育園の利用希望が高く、一方でパートタイム・自営業の母親は、幼稚園希望と認可保育園希望に分かれている。専業主婦は、何らかの保育サービスを希望する人の8割以上が幼稚園を希望している。保育サービスの利用希望は就労の動向と深く関わっており、この傾向は変わらないと思われる。

就業状況別 保育施設・保育サービスの利用希望比率(全サンプル)

	区立保育園	認可の私立保育園	認可保育園(区立と私立の合計)	公立幼稚園	私立幼稚園	認証保育所	事業所内保育施設
フルタイム就労	51.9%	27.4%	63.0%	5.0%	7.9%	9.9%	2.0%
パートタイム・自営業	14.3%	8.9%	19.4%	4.5%	13.9%	4.3%	1.3%
無職	10.1%	6.1%	12.9%	17.0%	46.1%	5.4%	2.8%
合計	19.1%	10.9%	24.2%	11.1%	29.7%	5.9%	2.2%

	保育ママ	保育室	無認可保育施設	ベビーシッター	ふれあい子育て	いずれも利用する予定はない	N
フルタイム就労	4.4%	5.2%	3.5%	20.7%	14.3%	28.0%	(343人)
パートタイム・自営業	2.3%	3.2%	1.1%	5.8%	3.4%	62.9%	(531人)
無職	2.4%	4.0%	4.0%	8.3%	8.3%	35.5%	(960人)
合計	2.7%	4.0%	3.1%	9.9%	8.0%	42.0%	(1834人)

回答からみる有効な子育て支援施策

区が今後取り組んでいくべき子育て支援施策の有効性については、全般に評価が高かった。その中でも、とりわけ保育時間の延長、休日保育、病時・病後児保育などの保育サービスの拡充や、新BOPなどによる「小学生の居場所の確保」、母親本人や子どもの病気時の支援サービスで、非常に有効とどちらかといえば有効をあわせると90%を超えるなど多くの母親が有効であるとの意見をもっていた。

一方、有効であるという意見と有効でないとする意見に分かれていたのは「24時間保育」と家庭での家事・育児の代行サービスであった。これらは母親の仕事の内容やサポートネットワーク(支援)の状況、さらには子育てにかかる考え、経済状況などにより生じるニーズの違いが背景にあると思われる。

どのような状況において、どのような対象者に、どのような子育て支援策が有効か、限られた財源を効果的に活用し多様なニーズにどこまで応じるべきかなど政策へつなげるために詳しく分析していく必要がある。

有効な子育て支援施策

	認可保育園をふや す	保育サービスの拡 充	24時間保育	小学生の居場所の 確保
非常に有効	56.4 % 1051 人	66.5 % 1238 人	30.2 % 563 人	62.5 % 1163 人
どちらかといえば有効	36.7 % 684 人	27.8 % 518 人	42.7 % 795 人	33.7 % 628 人
あまり有効でない	4.5 % 84 人	4.0 % 74 人	21.9 % 407 人	2.6 % 48 人
まったく有効でない	1.1 % 20 人	1.0 % 18 人	4.2 % 79 人	0.5 % 9 人
無回答	1.2 % 23 人	0.8 % 14 人	1.0 % 18 人	0.8 % 14 人
合計	100.0 % 1862 人	100.0 % 1862 人	100.0 % 1862 人	100.0 % 1862 人
	NPO等との協力	病気時の支援サー ビス	家事・育児の代行 サービス	事業者の支援
非常に有効	22.6 % 420 人	59.3 % 1105 人	30.6 % 570 人	40.6 % 756 人
どちらかといえば有効	60.8 % 1133 人	36.5 % 679 人	48.1 % 895 人	41.6 % 775 人
あまり有効でない	14.7 % 274 人	3.0 % 56 人	19.0 % 354 人	14.6 % 271 人
まったく有効でない	0.8 % 14 人	0.4 % 7 人	1.1 % 21 人	2.1 % 39 人
無回答	1.1 % 21 人	0.8 % 15 人	1.2 % 22 人	1.1 % 21 人
合計	100.0 % 1862 人	100.0 % 1862 人	100.0 % 1862 人	100.0 % 1862 人

仕事と子育ての両立のために重要なこと

仕事と子育てを両立しやすい社会に必要なものを、仕事、公的支援、私的支援の3つの分類ごとに分けて聞くと同時に全体でも聞いた。

子育て支援全体としては、第一に子育てと仕事を両立できる職場の理解、第二に家事や育児支援など家庭内での夫の育児・家事参加、第三に公的支援としての経済支援への意見が多かった。更に、その他として、仕事にかかる子育て支援制度、区の子育て支援、地域のサポートなどへの意見が多かった。

「あなたにとって、仕事と子育てを両立しやすい社会とはどのようなものですか。」

仕事と子育てが両立しやすい社会： 仕事について		仕事と子育てが両立しやすい社会： 公的支援について		仕事と子育てが両立しやすい社会： 私的支援について	
職場の理解	46.9 % 874 人	地域のサポート	28.0 % 521 人	夫の育児・家事参加	45.0 % 837 人
子育て支援制度	30.7 % 571 人	区の子育て支援	28.9 % 538 人	親族のサポート	25.8 % 480 人
多様な働き方	21.9 % 407 人	国の経済的支援	42.5 % 792 人	専門サービス	28.4 % 528 人
無回答	0.5 % 10 人	無回答	0.6 % 11 人	無回答	0.9 % 17 人
合計	100.0 % 1862 人	合計	100.0 % 1862 人	合計	100.0 % 1862 人

仕事と子育てが両立しやすい社会： 最も重要なもの	
職場の理解	17.9 % 333 人
子育て支援制度	9.9 % 185 人
多様な働き方	8.4 % 156 人
地域のサポート	5.4 % 100 人
区の子育て支援	6.1 % 113 人
国の経済的支援	17.1 % 318 人
夫の育児・家事参加	18.7 % 348 人
親族のサポート	9.7 % 180 人
専門サービス	5.8 % 108 人
無回答	1.1 % 21 人
合計	100.0 % 1862 人

4 平成 20 年度に向けて継続して分析すること

関係する所管課との共同により、世田谷の特性に即した施策に向けての研究を継続し、平成 20 年度に報告書をまとめる。以下は、研究の例を記す。

保育サービス

多角的な視点をもって保育サービス(区立保育園、私立保育園)の有効性について分析する。また、利用者の属性からも分析する。

在宅支援

在宅子育て者と就労者(保育サービス利用者)のストレスの違いや所管課が知りたい事象を施策の満足度・利用率とあわせて詳しく分析する。また、サポートネットワークについて詳しく分析し、在宅子育て支援の新たなサービス・支援策に向けての政策素材づくりを行う。

母子世帯

平成17年国勢調査によると、世田谷区内の末子が11歳以下の母子世帯数は、1554世帯である。今後、政策の対象となる可能性がある「母子世帯」について、母数・年収・就業・ネットワークサイズ・ストレス・満足度などについて詳しく分析する。

就労支援

就業支援策についての参考とするため、就業希望者を対象にした地区単位や鉄道沿線毎の地域図を作成するなど、詳しく分析する。また、フルタイム就労者とパートタイム就労者、在宅者(就労なし)のサポートネットワークについて詳しく分析する。

事業所内保育施設の利用状況や利用希望をフルタイム就労者やパートタイム就労者、就労希望者について分析する。また、地域特性についても分析する。

平成 20 年度に所管課で実施する事業者向けアンケート結果を受けて、事業者側と就労者側との意識等の比較分析を行う。

【資料：調査票・単純集計表】

※記入欄内のパーセンテージは、回収票 1862 票から非該当・無回答を除いた有効回答数を分母として算出。

少子化と就業女性の支援ネットワークに関する調査

この調査は、子育て中の母親の置かれている現状を明らかにし、有効な支援策について検討することを目的として、世田谷区と九州工業大学が共同で行う調査です。

調査に関する質問などは、下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

平成 19 年 11 月

世田谷区政策経営部政策研究担当課
九州工業大学

【お問い合わせ先】

世田谷区政策経営部政策研究担当課
〒154-8504
世田谷区世田谷4-21-27 世田谷区役所第一庁舎内
電話番号：03-5432-2243
FAX 番号：03-5432-3075

【ご記入にあたってのお願い】

1. 調査票には、必ず封筒のあて名のご本人がご回答・ご記入ください。
2. 回答は、指示にしたがってあてはまる番号に○をつけるか、数字をご記入して下さい。
3. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。（ボールペンを同封しています。）
4. 該当する質問には、すべてお答えください。
5. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、質問文をお読みになりご記入ください。
6. この調査票は、11月26日までにご記入のうえ、同封の封筒に入れてご返送くださるようお願いいたします（送出人名は、無記名で結構です）。

問1 あなたは現在どちらにお住まいですか。町丁目でお答えください。

(記入例) 池尻1丁目・北沢2丁目・駒沢3丁目・船橋4丁目・八幡山5丁目など(無回答 25)

丁目

問2 世田谷区にお住まいになって通算して何年になりますか。(無回答 10)

1. 5年未満 30.6%	2. 5～10年未満 26.0%	3. 10～15年未満 17.5%
4. 15～20年未満 6.9%	5. 20～25年未満 3.9%	6. 25年以上 16.1%

問3 あなたが中学校を卒業したときにお住まいだった場所についてお伺いします。

(1) 現在の住所からどれくらい離れていますか。通常の交通手段でかかる時間別に、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。(無回答 13)

1. 現在の住所に住んでいた 5.7%
2. 15分以内のところ 9.1%
3. 15分以上30分以内のところ 8.1%
4. 30分以上1時間以内のところ 16.9%
5. 1時間以上2時間以内のところ 22.4%
6. 2時間以上のところ 37.8%

(2) それは世田谷区内ですか。(無回答 9)

1. はい 20.8%
2. いいえ 79.2%

問4 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(無回答 10)

1. 一戸建て持ち家 35.9%	2. 一戸建て借家 5.1%	3. 分譲マンション 22.6%
4. 賃貸マンション 17.9%	5. 都営・区営住宅 2.2%	6. 社宅・官舎・寮 8.9%
7. アパート 6.2%	8. その他 1.2%	()

問5 あなたは現在何歳ですか。(無回答 13)

平均
38.1 歳

問6 現在あなたに配偶者(夫)はいらっしゃいますか(内縁の夫も含みます)。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(無回答 1)

1. いる 95.3%	→	その方は何歳ですか
2. いない(離別) 3.9%		(必ず「1.いる」に○をつけてください。(無回答 10))
3. いない(死別) 0.4%		
4. 結婚したことがない(未婚) 0.4%		

平均
40.4 歳

問7 あなたの世帯は次のうちどれにあたりますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。「4. その他」の場合は、かっこの中に具体的にご記入ください。(無回答 6)

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 夫婦と子どもの世帯 | 86.2% |
| 2. 母子世帯 | 4.1% |
| 3. 3世代世帯(親と夫婦と子ども) | 8.8% |
| 4. その他 | 0.9% () |

問8 あなたは次にあげる団体・組織に加入していますか。(a)~(c)のそれぞれについて、「1. 非加入」「2. 加入」「3. 加入して積極的に参加」のなかから、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。

(a) 町会・自治会(無回答39)	1. 非加入 49.4%	2. 加入 49.0%	3. 加入して積極的に参加 1.6%
(b) 学校のPTA(無回答 38)	1. 非加入 44.7%	2. 加入 42.1%	3. 加入して積極的に参加 13.2%
(c) 地域生協・消費者団体(無回答 46)	1. 非加入 58.8%	2. 加入 40.3%	3. 加入して積極的に参加 0.9%

問9 あなたは、つぎにあげるような活動や集会に参加されていますか。過去1年のあいだに参加されたことがあるものすべてに○をつけてください。どれにも参加されなかった方は、「7. どれにも参加しなかった」に○をつけてください。(無回答 12)

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 自治会・町会・婦人会などのイベント(お祭りや清掃活動など) | 42.7% |
| 2. 子育てに関する地域活動(子育てサロンやNPO、ボランティアなど) | 25.7% |
| 3. 1と2以外のボランティア活動 | 5.5% |
| 4. 趣味・おけいこごとのサークルや団体の活動 | 26.7% |
| 5. スポーツのサークルや団体の活動 | 17.0% |
| 6. 住民運動団体・市民団体の活動 | 2.0% |
| 7. どれにも参加しなかった | 30.4% |

問10 もし、地域の小・中学校から次のようなことを頼まれたら、あなたは協力したいと思いますか。協力したい・してもよいと思うものすべてに○をつけてください。(無回答 0)

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 学校の教育方針や目標を決める委員会への参加 | 24.3% |
| 2. 学校の活動を評価する委員会への参加 | 21.3% |
| 3. 「総合的な学習の時間」などの講師 | 14.7% |
| 4. 授業での教師のアシスタント | 28.3% |
| 5. クラブ活動・部活動などの指導 | 13.9% |
| 6. 休日や放課後に行う体験活動や学習活動の指導 | 18.6% |
| 7. 学区の安全を守る巡回活動 | 54.5% |
| 8. PTAの役員 | 20.6% |

問11 お子さんは何人いらっしゃいますか。(無回答 2)

- | | | | | | |
|----|-------|----|-------|------|-------|
| 1人 | 45.1% | 2人 | 43.0% | 3人 | 10.7% |
| 4人 | 1.1% | 5人 | 0.2% | (平均) | 1.68 |

問12 あなたにとって、理想的な子どもの人数は何人ですか。(無回答 20)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|---------|-------|
| 1. 0人 | 0.3% | 2. 1人 | 5.0% | 3. 2人 | 47.6% |
| 4. 3人 | 41.5% | 5. 4人 | 4.0% | 6. 5人以上 | 1.6% |

問13 お子さんについて伺います。(1)と(7)は実数値を、それ以外はあてはまる番号に○をつけてください。(お子さんが5人以上いる場合は、第4子の欄に一番下のお子さんについてご記入ください。)

	第1子	第2子(非回答 638)	第3子(非回答 1638)	第4子(末子)(n=1837)
(1)年齢はいくつですか。(無回答 9)	(平均)7.48歳	(平均)6.42歳	(平均)6.32歳	(平均)5.00歳
(2)性別はどちらですか。	1. 男 52.3% 2. 女 47.7% (無回答 5)	1. 男 50.0% 2. 女 50.0% (無回答 7)	1. 男 56.4% 2. 女 43.6% (無回答 4)	1. 男 58.5% 2. 女 41.5% (無回答 2)
(3)通っている学校等はどれですか。【○はひとつ】(無回答 615/412)	1. 通っていない 18.2% 2. 幼稚園・保育園 25.5% 3. 公立小学校 33.6% 4. 国立・私立小学校 5.3% 5. 公立中学校 6.6% 6. 国立・私立中学校 4.4% 7. 中学校に既に卒業 6.4%	1. 通っていない 21.8% 2. 幼稚園・保育園 27.9% 3. 公立小学校 38.0% 4. 国立・私立小学校 5.7% 5. 公立中学校 2.3% 6. 国立・私立中学校 1.3% 7. 中学校に既に卒業 3.1%	1. 通っていない 19.5% 2. 幼稚園・保育園 28.6% 3. 公立小学校 45.0% 4. 国立・私立小学校 3.6% 5. 公立中学校 2.3% 6. 国立・私立中学校 0.0% 7. 中学校に既に卒業 0.9%	1. 通っていない 17.4% 2. 幼稚園・保育園 47.8% 3. 公立小学校 30.4% 4. 国立・私立小学校 4.3% 5. 公立中学校 0.0% 6. 国立・私立中学校 0.0% 7. 中学校に既に卒業 0.0%
(4)習い事や塾などに通っていますか。【○はいくつでも】(無回答 23/20/10/3)	1. 習い事 57.1% 2. 受験のための塾 15.8% 3. 補習塾 8.6% 4. 家庭教師 1.6% 5. 自治体主催の教室・サークル(習字・新BCPなど) 12.7% 6. 民間の学童クラブ 1.0% 7. 地域のスポーツ活動 10.0%(少年野球やサッカー、ミニバケットなど) 8. 通っていない 28.5%	1. 習い事 54.9% 2. 受験のための塾 11.3% 3. 補習塾 8.0% 4. 家庭教師 0.9% 5. 自治体主催の教室・サークル(習字・新BCPなど) 10.3% 6. 民間の学童クラブ 0.4% 7. 地域のスポーツ活動 12.4%(少年野球やサッカー、ミニバケットなど) 8. 通っていない 45.0%	1. 習い事 54.7% 2. 受験のための塾 7.9% 3. 補習塾 10.7% 4. 家庭教師 0.0% 5. 自治体主催の教室・サークル(習字・新BCPなど) 7.9% 6. 民間の学童クラブ 0.5% 7. 地域のスポーツ活動 13.6%(少年野球やサッカー、ミニバケットなど) 8. 通っていない 30.8%	1. 習い事 50.0% 2. 受験のための塾 0.0% 3. 補習塾 13.6% 4. 家庭教師 0.0% 5. 自治体主催の教室・サークル(習字・新BCPなど) 9.1% 6. 民間の学童クラブ 0.0% 7. 地域のスポーツ活動 18.2%(少年野球やサッカー、ミニバケットなど) 8. 通っていない 36.4%
(5)国立・私立小学校の受験について【○はひとつ】(無回答 51/24/12/2)	1. 受験した 16.2% 2. 受験しなかった 43.9% 3. これからする予定 7.1% 4. 予定していない 32.8%	1. 受験した 16.2% 2. 受験しなかった 43.9% 3. これからする予定 7.1% 4. 予定していない 32.8%	1. 受験した 10.3% 2. 受験しなかった 43.6% 3. これからする予定 6.8% 4. 予定していない 39.4%	1. 受験した 6.6% 2. 受験しなかった 46.7% 3. これからする予定 6.1% 4. 予定していない 40.6%
(6)国立・私立中学校の受験について【○はひとつ】(無回答 129/75/23/4)	1. 受験した 8.4% 2. 受験しなかった 10.5% 3. これからする予定 29.1% 4. 予定していない 52.0%	1. 受験した 2.5% 2. 受験しなかった 5.1% 3. これからする予定 33.2% 4. 予定していない 59.2%	1. 受験した 0.0% 2. 受験しなかった 4.0% 3. これからする予定 29.4% 4. 予定していない 66.7%	1. 受験した 0.0% 2. 受験しなかった 0.0% 3. これからする予定 33.3% 4. 予定していない 66.7%
(7)平日の就寝時刻は何時頃ですか。(無回答 28)	午後 (平均) 10時 12分頃	午後 (平均) 9時 12分頃	午後 (無回答 11)	午後 (無回答 2)

問 14 あなたのご両親についてうかがいます。夫がいらっしゃる方は夫の父親/母親についてもお答えください。(2)~(4)は、生存している場合のみお答えください。

	あなたの父親	あなたの母親	夫の父親	夫の母親
(1)どちらに住んでいらっしゃいますか。 <small>※通常の交通手段でかかる時間別に○をつけてください。 非該当 0/0/87/87 無回答 21/10/72/44</small>	1.同居・敷地内 4.7%	1.同居・敷地内 7.1%	1.同居・敷地内 6.8%	1.同居・敷地内 9.1%
	2.15分以内 7.4%	2.15分以内 6.7%	2.15分以内 6.4%	2.15分以内 7.9%
	3.15~30分以内 5.4%	3.15~30分以内 6.4%	3.15~30分以内 4.7%	3.15~30分以内 5.8%
	4.30分~1時間 11.0%	4.30分~1時間 13.9%	4.30分~1時間 9.3%	4.30分~1時間 11.7%
	5.1~2時間以内 19.1%	5.1~2時間以内 21.8%	5.1~2時間以内 16.5%	5.1~2時間以内 19.1%
6.2時間以上 32.7%	6.2時間以上 35.6%	6.2時間以上 31.8%	6.2時間以上 37.4%	
7.亡くなった 19.8%	7.亡くなった 6.5%	7.亡くなった 24.5%	7.亡くなった 9.1%	
(2)年齢はいくつですか。(非該当 364/121/505/2以下(3)(4)同) 無回答 23/12/73/48	1.15歳未満 0.2%	1.15歳未満 0.3%	1.15歳未満 0.2%	1.15歳未満 0.3%
	2.15~60歳未満 11.1%	2.15~60歳未満 17.1%	2.15~60歳未満 7.9%	2.15~60歳未満 12.6%
	3.60~70歳未満 48.0%	3.60~70歳未満 53.4%	3.60~70歳未満 44.3%	3.60~70歳未満 50.0%
	4.70歳以上 40.7%	4.70歳以上 29.1%	4.70歳以上 47.5%	4.70歳以上 37.2%
(3)どの程度会っていますか。 無回答 23/12/76/48	1.ほとんど毎日 8.9%	1.ほとんど毎日 12.3%	1.ほとんど毎日 8.1%	1.ほとんど毎日 9.6%
	2.少なくとも週1回 10.6%	2.少なくとも週1回 13.0%	2.少なくとも週1回 8.7%	2.少なくとも週1回 9.2%
	3.少なくとも月1回 25.2%	3.少なくとも月1回 27.1%	3.少なくとも月1回 20.9%	3.少なくとも月1回 20.8%
	4.年に1~6回程度 49.4%	4.年に1~6回程度 44.4%	4.年に1~6回程度 53.6%	4.年に1~6回程度 52.3%
	5.ほとんど会わない 6.0%	5.ほとんど会わない 3.2%	5.ほとんど会わない 8.7%	5.ほとんど会わない 8.0%
(4)日常生活を過ごす上で、手助けが必要ですか。 無回答 50/45/111/88	1.必要ない 81.3%	1.必要ない 79.1%	1.必要ない 85.3%	1.必要ない 83.6%
	2.一部の手助けが必要 16.0%	2.一部の手助けが必要 18.7%	2.一部の手助けが必要 11.5%	2.一部の手助けが必要 14.3%
	3.全体的手助けが必要 2.7%	3.全体的手助けが必要 2.2%	3.全体的手助けが必要 3.2%	3.全体的手助けが必要 2.1%

問 15 以下のような方々は、それぞれの場所に何人いらっしゃいますか。通常の交通手段でかかる時間別にご記入ください。該当しない箇所には、必ず「0」人とご記入ください。

(1) あなたのきょうだい(無回答 9 かっこ内は有効平均人数)

同居・同じ敷地内 (0.03)人 15分以内 (0.09)人 15~30分以内 (0.08)人
30分~1時間以内 (0.23)人 1~2時間以内 (0.38)人 2時間以上 (0.54)人

(2) あなたの夫のきょうだい(非該当 87・無回答 9 かっこ内は有効平均人数)

同居・同じ敷地内 (0.03)人 15分以内 (0.07)人 15~30分以内 (0.08)人
30分~1時間以内 (0.18)人 1~2時間以内 (0.36)人 2時間以上 (0.57)人

(3) 親、きょうだい以外で親しくしている親せき(無回答 8 かっこ内は有効平均人数)

同居・同じ敷地内 (0.03)人 15分以内 (0.14)人 15~30分以内 (0.13)人
30分~1時間以内 (0.30)人 1~2時間以内 (0.48)人 2時間以上 (0.89)人

(4) あなたが親しくしている友人(無回答 8 かっこ内は有効平均人数)

同居・同じ敷地内 (0.30)人 15分以内 (2.39)人 15~30分以内 (1.44)人
30分~1時間以内 (1.44)人 1~2時間以内 (1.44)人 2時間以上 (1.28)人

問 16 あなたの生活において何かと助けあったり、支援してくれる方々を思い浮かべてください。何人いますか。(無回答 0)

平均 5.73 人

以降の質問では、その方々のうち、思い浮かんだ順に5人までについてうかがいます(1人目の方から順に、Aさん、Bさん、Cさん、Dさん、Eさんとします)。5人に満たない場合は、思い浮かぶ方々の人数分だけ、お答えください。

まず、その方々がどなたであるか、ご自分でわかるように、イニシャルや愛称・ニックネームなどを下の欄に記入してください。(ここでお書きになった内容は、集計・分析などには使いませんので、すべての回答が終わった時点で消していただいても構いません。)

Aさん: _____ Bさん: _____ Cさん: _____

Dさん: _____ Eさん: _____

(1)上であげていただいたそれぞれの方とは、どのような関係にあたりますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(非該当 A:50 B:110 C:250 D:460 E:635 以下(2)~(6)同)
(無回答 A:8 B:13 C:16 D:15 E:18)

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
夫 平均カウント数 0.59人 →	1	1	1	1	1
母親 0.66人 →	2	2	2	2	2
父親 0.36人 →	3	3	3	3	3
夫の母親 0.34人 →	4	4	4	4	4
夫の父親 0.16人 →	5	5	5	5	5
子ども 0.08人 →	6	6	6	6	6
きょうだい 0.34人 →	7	7	7	7	7
夫のきょうだい 0.07人 →	8	8	8	8	8
その他の親せき 0.13人 →	9	9	9	9	9
近所の人 0.24人 →	10	10	10	10	10
職場や仕事を通じて知り合った人 0.13人 →	11	11	11	11	11
学生時代の友人 0.15人 →	12	12	12	12	12
趣味のグループの人 0.04人 →	13	13	13	13	13
子どもを介して知り合った人 0.75人 →	14	14	14	14	14
その他の友人 0.11人 →	15	15	15	15	15

(2) それぞれの方の性別はどちらですか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。
(無回答 A:3 B:9 C:8 D:13 E:23)

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
男性 平均カウント数 1.34人 →	1	1	1	1	1
女性 平均カウント数 2.94人 →	2	2	2	2	2

- (3) それぞれの方の年齢を、以下に記入してください(わからない場合は、おおよその年齢で結構です)。(無回答 A:6 B:12 C:11 D:11 E:14)

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
平均 48.4 歳	平均 54.6 歳	平均 49.9 歳	平均 47.3 歳	平均 45.9 歳

- (4) それぞれの方とあなたは、どのくらいの頻度で会いますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(無回答 Aさん2 Bさん6 Cさん7 Dさん8 Eさん17)

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
ほとんど毎日 平均カウント数 1.26人 →	1	1	1	1	1
少なくとも週1回 0.88人 →	2	2	2	2	2
少なくとも月1回 1.15人 →	3	3	3	3	3
年に数回 1.00人 →	4	4	4	4	4

- (5) それぞれの方はどちらにお住まいですか。通常の交通手段でかかる時間別に、あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(無回答 Aさん1 Bさん3 Cさん4 Dさん8 Eさん10)

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
同居・同じ敷地内 平均カウント数 1.03人	1	1	1	1	1
15分以内 1.11人 →	2	2	2	2	2
15分～30分以内 0.44人 →	3	3	3	3	3
30分～1時間以内 0.53人 →	4	4	4	4	4
1時間～2時間以内 0.62人 →	5	5	5	5	5
2時間以上 0.57人 →	6	6	6	6	6

- (6) それぞれの方からどのようなサポートを受けていますか。次のうちあてはまる番号すべてに○をつけてください。育児に関する項目はお子さんが小さいときを思い出してお答えください。(無回答 Aさん1 Bさん3 Cさん2 Dさん4 Eさん6)

平均カウント数	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
あなたが病気の時に家事や育児を頼む 1.72人	1	1	1	1	1
人がいるときに気軽に手伝いを頼める 1.92人	2	2	2	2	2
気晴らしに一緒にでかける 2.17人	3	3	3	3	3
個人的な悩みごとについての相談 2.26人	4	4	4	4	4
子どもの教育や受験についての相談 2.06人	5	5	5	5	5
急な用事や残業時に子どもを預かってくれる 1.69人	6	6	6	6	6
子どもが病気の時に世話をしてくれる 1.20人	7	7	7	7	7
保育園・幼稚園の送り迎えをしてくれる 0.96人	8	8	8	8	8

- 問17 夫がいらっしゃる方にお聞きします。あなたの夫は、家事や育児にどの程度参加していますか。それぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。(非該当 87)

		毎日	週3～4回	週1～2回	月1～2回	全くしない
家事	日常の買物 (無回答 36) →	1 (2.9%)	2 (5.3%)	3 (37.7%)	4 (34.3%)	5 (19.8%)
	部屋の掃除 (無回答 36) →	1 (1.7%)	2 (2.4%)	3 (19.2%)	4 (33.1%)	5 (43.5%)
	洗濯 (無回答 34) →	1 (4.1%)	2 (3.6%)	3 (11.5%)	4 (21.5%)	5 (59.4%)
	食事の支度 (無回答 38) →	1 (3.6%)	2 (3.5%)	3 (15.7%)	4 (27.4%)	5 (49.9%)
	ごみ出し (無回答 52) →	1 (1.7%)	2 (2.4%)	3 (19.2%)	4 (33.1%)	5 (43.5%)
育児	風呂に入れる(入れていた) (無回答 20)	1 (12.4%)	2 (17.6%)	3 (20.1%)	4 (19.4%)	5 (30.5%)
	着替えをさせる(させた) (無回答 29)	1 (12.1%)	2 (17.9%)	3 (35.2%)	4 (17.5%)	5 (17.2%)
	遊び相手になる(になった) (無回答 23)	1 (27.7%)	2 (20.9%)	3 (39.5%)	4 (9.5%)	5 (2.4%)
	寝かしつける(をした) (無回答 35)	1 (9.7%)	2 (12.9%)	3 (28.4%)	4 (21.4%)	5 (27.7%)
	保育園・幼稚園に送る(送った) (無 204)	1 (10.7%)	2 (5.0%)	3 (9.6%)	4 (27.1%)	5 (47.6%)

- 問18 あなたは夫に、もっと家事・育児を分担してほしいと思いますか。もっとも近い番号にひとつだけ○をつけてください。(非該当 87・無回答 19)

1. もっと分担してほしい	26.6%
2. 分担しているところをちゃんとやってほしい	9.2%
3. 現状でよい	51.1%
4. 始めから協力を期待していない	12.9%

- 問19 次のようなことがこの2～3ヶ月ほどの間にどのくらいありましたか。それぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。なお、(e)～(h)については、夫がいらっしゃる場合、仕事についていない場合には、「5 あてはまらない」に○をつけてください。(無回答 10)

		全くなかった	ごくまれにあった	ときどきあった	何度もあった	あてはまらない
(a) 家庭での自分の負担が大きすぎると感じたこと (無 44)	1 (20.3%)	2 (27.8%)	3 (26.9%)	4 (25.0%)		
(b) 育児から解放されたいと思ったこと (無回答 38) →	1 (24.6%)	2 (31.4%)	3 (27.1%)	4 (16.9%)		
(c) 子どもの教育上の心配ごと (無回答 47) →	1 (15.9%)	2 (30.2%)	3 (28.7%)	4 (25.2%)		
(d) 子どもの養育費・教育費が家計を圧迫していると思ったこと (無回答 44)	1 (44.2%)	2 (21.8%)	3 (16.2%)	4 (18.0%)		
(e) 自分の子育ての努力が夫が理解してくれないと感じること (無回答 79)	1 (38.1%)	2 (29.0%)	3 (18.5%)	4 (14.5%)	5 (87)	
(f) 職場での人間関係で悩んだこと (無回答 23) →	1 (45.3%)	2 (24.4%)	3 (17.3%)	4 (13.0%)	5 (967)	
(g) 職場で「育児への理解が不足している」と思ったこと (無 23) 1 (57.2%)	1 (57.2%)	2 (19.4%)	3 (12.8%)	4 (10.6%)	5 (967)	
(h) 職場での仕事の負担が大きすぎると感じたこと (無 23) 1 (48.2%)	1 (48.2%)	2 (22.2%)	3 (13.6%)	4 (15.9%)	5 (967)	

問 20 あなたは以下の項目についてどの程度満足していますか。それぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。なお、夫や親御さんがいらっしゃらない場合、仕事についていない場合には、「5 あてはまらない」に○をつけてください。

	非常に満足	まあまあ満足	やや不満	非常に不満	あてはまらない
(a)生活全般について (無回答 36) →	1 (14.6%)	2 (65.7%)	3 (18.8%)	4 (3.0%)	
(b)夫との関係について (無回答 30) →	1 (20.0%)	2 (55.8%)	3 (17.1%)	4 (7.0%)	5 (87)
(c)子どもとの関係について (無回答 40) →	1 (41.3%)	2 (52.2%)	3 (5.8%)	4 (0.8%)	
(d)あなたの親との関係について (無回答 56) →	1 (31.4%)	2 (57.9%)	3 (8.6%)	4 (2.2%)	5 (46)
(e)夫の親との関係について (無回答 48) →	1 (19.5%)	2 (58.8%)	3 (15.5%)	4 (6.2%)	5 (160)
(f)地域生活について (無回答 54) →	1 (10.2%)	2 (73.4%)	3 (14.5%)	4 (1.8%)	
(g)職業生活について (無回答 112) →	1 (12.1%)	2 (60.7%)	3 (22.2%)	4 (5.0%)	5 (967)

問 21 次にあげるような意見についてあなたはどのようにお考えですか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近い番号にひとつだけ○をつけてください。(無回答 10)

	そう思う	まあそう思う	あまりそうは思わない	そうは思わない
(a)夫は外で働き妻は家庭を守る方がよい (無回答 17)	1 (9.3%)	2 (37.7%)	3 (34.5%)	4 (18.5%)
(b)男の子と女の子は違った育て方をされる方がよい(無回答 19)	1 (10.4%)	2 (56.1%)	3 (39.8%)	4 (13.7%)
(c)夫も家事や育児を平等に分担する方がよい(無回答 23)	1 (14.7%)	2 (32.6%)	3 (45.2%)	4 (7.5%)
(d)子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念した方がよい(無回答 17)	1 (30.6%)	2 (31.9%)	3 (24.1%)	4 (13.4%)
(e)結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない(無回答 16)	1 (22.0%)	2 (31.7%)	3 (29.1%)	4 (17.1%)
(f)夫婦別姓が法的に認められる方がよい (無回答 22)	1 (17.8%)	2 (24.2%)	3 (42.0%)	4 (16.0%)

問 22 小学生のお子さんがいらっしゃる方にお聞きします。世田谷の子どもや家庭、世田谷の地域、公立学校の様子について、あなたは次のようなことを感じますか。それぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。(非該当 845)

	非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	まったく感じない
(a)子どもたちの学習意欲が低下している(無回答 17) →	1 (15.8%)	2 (44.4%)	3 (38.1%)	4 (1.7%)
(b)子どもたちの道徳心や公共心がうすれている(無回答 14)	1 (23.2%)	2 (51.3%)	3 (24.8%)	4 (0.6%)
(c)学校に協力的でない家庭が多い (無回答 19) →	1 (15.2%)	2 (44.0%)	3 (39.3%)	4 (1.5%)
(d)地域の大人が子どもにかかわらなくなっている(無回答 16)	1 (15.7%)	2 (63.8%)	3 (28.6%)	4 (1.9%)
(e)先生の教える力が低下している (無回答 22) →	1 (16.9%)	2 (39.4%)	3 (42.2%)	4 (2.5%)
(f)学校の先生は信頼できる (無回答 23) →	1 (9.5%)	2 (56.1%)	3 (30.1%)	4 (4.3%)
(g)公立学校ではなく、できれば 私立・国立の中学校に行かせたい(無回答 20)	1 (33.8%)	2 (27.3%)	3 (28.2%)	4 (10.7%)

問 23 区の子育て支援の取り組みについてお伺いします。あなたは次の取り組みを知っていますか。また、どこで知りましたか。それぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。「5. その他」の場合は、かっこの中に情報の入手先をご記入ください。

	知っている					知らない
	区広報紙で知った	区ホームページで知った	友人に聞いた	親・家族に聞いた	その他 (※かっこの中に記入ください)	
(1) 親子が自由に遊べる 「子育て広場」(無回答 7) ※子ども子育て総合センター(経堂駅徒歩6分・就学前)・ 子育てステーション成城(成城学園駅ビル内・3歳まで)	1 29.5%	2 3.5%	3 9.7%	4 0.3%	5 5.3% (※かっこの中に 近所で見 かけた等)	6 51.7%
(2) 有料で理由を問わずお子さんを預かる 「ほっとステイ」(無回答 8) ※子ども子育て総合センター(経堂駅徒歩6分・就学前)・ 子育てステーション成城(成城学園駅ビル内・3歳まで)	1 24.1%	2 3.1%	3 7.7%	4 0.2%	5 4.5% (※仕事関係 等)	6 60.4%
(3) 子育てについての様々な講座やイベントの 「子育てカレッジ」(無回答 11) ※子ども子育て総合センター(経堂駅徒歩6分)にて開催。	1 19.8%	2 1.8%	3 1.5%	4 0.1%	5 1.7% (※児童館等 等)	6 75.4%
(4) 病気の回復期などで、保育室等での集団保育が 困難な時期にお子さんを預かる 「病児・病後児保育」(無回答 6) ※ハグルーム(下田3丁目)、シェ・モア(中町4丁目)、 きていルーム(松原6丁目)	1 23.1%	2 4.6%	3 4.2%	4 0.6%	5 12.5% (※小児科・ 保育園等 等)	6 54.9%
(5) 子育てや育児に関する相談や案内を行う 「世田谷子育てテレフォン」(無回答 11) ※電話番号 5451-1211 平日 17時～22時、土日祝日 9時～22時受付。	1 53.0%	2 5.2%	3 1.0%	4 0.6%	5 8.0% (※パンフレ ット等) 等)	6 32.1%
(6) 出産予定1ヶ月前から生後6ヶ月の子育て家庭へ 3回まで無料でヘルパーを派遣する 「さんさんサポート」(無回答 9)	1 28.3%	2 3.5%	3 4.4%	4 0.5%	5 10.0% (※資料等 と一緒の 母子手帳 等)	6 53.3%
(7) 保育園と幼稚園機能を一体化し保護者の仕事の有無 にかかわらず子育て支援を行う 「認定こども園」(無回答 6) ※区立幼稚園を用途転換し、私立の野沢こども園(野沢1丁 目)と羽根木こども園(代田4丁目)として、20年4月に 開設。	1 21.6%	2 3.7%	3 5.4%	4 0.3%	5 4.5% (※幼稚園・保 育園等) 等)	6 64.5%
(8) お父さんの子育てを応援する 「お父さんのための子育て応援講座」(無回答 22) ※男女共同参画センター「らぶらす」(下北沢駅徒歩5分 北沢2丁目北沢タウンホール9～11階)にて開催。	1 15.0%	2 1.3%	3 0.7%	4 0.1%	5 1.0% (※子育て 情報等) 等)	6 82.1%
(9) 保護者の仕事などの理由で放課後に家庭でみられない 小学1～3年のお子さんを預かる遊びと生活の場 「新BOP内学童クラブ」(無回答 12)	1 15.8%	2 2.8%	3 24.5%	4 2.0%	5 23.4% (※学校 で) その他 等)	6 24.0%
(10) 地域の中で多様な子育て支援を行う 「NPO団体などの子育て支援活動」(無回答 11) ※子育て支援者になるための「保育サポーター養成講座」、 乳幼児を連れて安心して利用できる「子育てカフェ」、 身近な地域で気軽に参加できる支えあいの場「子育てサロ ン」	1 22.5%	2 3.1%	3 6.6%	4 0.3%	5 4.0% (※児童館・学 校等) 等)	6 63.4%

問 24 問 23 であげた各取り組みを、あなたのお宅では利用したことがありますか。あるいは、利用したいと思いませんか。あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。
(お子さんが大きい方は、小さかったときのことを思い出してお答えください。)

	利用している 利用したことがある	現在利用している	これから利用したい 利用する予定	前から使っていたら 利用してみたい	利用したいとは思わない	わからない
(1) 子育て広場 (無回答 33) →	1 (13.3%)	2 (16.9%)	3 (27.8%)	4 (18.5%)	5 (23.5%)	
(2) ほっとステイ (無回答 30) →	1 (2.4%)	2 (18.5%)	3 (27.5%)	4 (23.7%)	5 (27.8%)	
(3) 子育てカレッジ (無回答 40) →	1 (1.5%)	2 (19.5%)	3 (23.3%)	4 (21.8%)	5 (33.8%)	
(4) 病児・病後児保育 (無回答 42) →	1 (3.2%)	2 (18.7%)	3 (20.1%)	4 (21.6%)	5 (36.4%)	
(5) 世田谷子育てテレフォン (無回答 39) →	1 (5.8%)	2 (19.6%)	3 (18.3%)	4 (19.3%)	5 (36.9%)	
(6) さんさんサポート (無回答 39) →	1 (4.8%)	2 (10.6%)	3 (31.6%)	4 (21.0%)	5 (31.9%)	
(7) 認定こども園 (無回答 42) →	1 (0.7%)	2 (13.0%)	3 (21.6%)	4 (24.7%)	5 (39.9%)	
(8) お父さんのための子育て応援講座(無回答 44)	1 (0.6%)	2 (8.3%)	3 (12.5%)	4 (26.0%)	5 (52.6%)	
(9) 新BOP内学童クラブ (無回答 17) →	1 (27.5%)	2 (28.3%)	3 (5.5%)	4 (12.7%)	5 (25.9%)	
(10) NPO 団体などの子育て支援活動(無回答 38)	1 (5.9%)	2 (20.8%)	3 (15.4%)	4 (14.3%)	5 (43.6%)	

問 25 あなたにとって、仕事と子育てを両立しやすい社会とはどのようなものですか。

(1) A 群・B 群・C 群の中から、それぞれもっとも重要だと思う番号に、ひとつずつ○をつけてください。

(A 群) (無回答 10)

(○はひとつだけ)

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1. 職場の理解がある (子育てに協力的な雰囲気がある) | 47.2% |
| 2. 職場の子育て支援制度が充実している | 30.8% |
| 3. 在宅勤務など多様な柔軟な働き方がみとめられている | 22.0% |

(B 群) (無回答 11)

(○はひとつだけ)

- | | |
|--|-------|
| 4. 地域で子育てをサポートする雰囲気としくみがある | 28.1% |
| 5. 区の子育て支援策が充実している | 29.1% |
| 6. 国などからの子育て世帯への手当金 (支援金・医療費等助成) が充実している | 42.8% |

(C 群) (無回答 17)

(○はひとつだけ)

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 7. 夫が育児や家事に積極的に参加する | 45.4% |
| 8. 親やきょうだい近くに住み、育児を手伝ってくれる | 26.0% |
| 9. ベビーシッターや家事代行などの専門サービスが利用しやすい | 28.6% |

(2) では、○をつけた3つのなかでもっとも重要だと思うものはどれですか。1 番から 9 番まで、あてはまるものの数字を記入してください。(無回答 21)

1 (18.1%) 2 (10.0%) 3 (8.5%) 4 (5.4%) 5 (6.1%)
 番 6 (17.3%) 7 (18.9%) 8 (9.8%) 9 (5.9%)

問 26 子育てと仕事の両立支援を図るために、以下の施策はどれくらい有効だと思いますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近い番号にひとつだけ○をつけてください。

	非常に 有効	どちらかとい えば有効	あまり 有効でない	まったく 有効でない
(a) 認可保育園をふやす (無回答 23) →	1 (57.2%)	2 (37.2%)	3 (4.6%)	4 (1.1%)
(b) 保育時間の延長、休日保育、(無回答 14) 病時・病後児保育などのサービスを拡大する →	1 (67.0%)	2 (28.0%)	3 (4.0%)	4 (1.0%)
(c) 仕事の仕方にあわせて深夜など 24 時間の保育を実施する(無回答 18) →	1 (30.5%)	2 (43.1%)	3 (22.1%)	4 (4.3%)
(d) 小学校にあがった後の (無回答 14) 新 BOP などの居場所確保、始業前の受け入れ →	1 (62.9%)	2 (34.0%)	3 (2.6%)	4 (0.5%)
(e) 乳幼児や思春期など発育不安な時に 気軽に相談できる場を充実する(無回答 15) →	1 (33.7%)	2 (54.0%)	3 (11.5%)	4 (0.8%)
(f) 地域の中で NPO 活動やボランティア団体と 協力して子育て支援を広げる(無回答 21) →	1 (22.8%)	2 (61.5%)	3 (14.9%)	4 (0.8%)
(g) 子どもや親が病気などの場合に 支援するサービスを充実する(無回答 15) →	1 (59.8%)	2 (36.8%)	3 (3.0%)	4 (0.4%)
(h) 家庭での家事や育児の代行サービスを 充実する(無回答 22) →	1 (31.0%)	2 (48.6%)	3 (19.2%)	4 (1.1%)
(i) 家庭と仕事の両立のため事業者 (企業) を支援する(無回答 21) →	1 (41.1%)	2 (42.1%)	3 (14.7%)	4 (2.1%)
(j) 家族 (夫) の育児や家事への参加を進める 施策を充実する(無回答 21) →	1 (36.0%)	2 (40.1%)	3 (21.3%)	4 (2.6%)

問 27 学校教育について、現在取り入れたり検討されたりしている次のような取り組みについて、どう思われますか。それぞれについて、あなたのお考えにもっとも近い番号にひとつだけ○をつけてください。

	たいへん 良い	どちらかとい えば良い	あまり 良くない	良くない
(a) 「総合的な学習の時間」の実施 (無回答 38) →	1 (18.9%)	2 (57.3%)	3 (19.1%)	4 (4.6%)
(b) 学校選択制の導入 (無回答 17) (公立小・中学校の学区の自由化) →	1 (27.7%)	2 (47.7%)	3 (20.7%)	4 (4.3%)
(c) 公立の中高一貫校の設置 (無回答 23) →	1 (27.7%)	2 (53.4%)	3 (16.6%)	4 (2.2%)
(d) 学力の高い子は飛び級が出来る制度(無回答 23) →	1 (11.6%)	2 (33.2%)	3 (44.9%)	4 (10.3%)
(e) 保護者・生徒が学校や先生を評価するしくみ (無回答 22) →	1 (19.0%)	2 (42.8%)	3 (31.0%)	4 (7.3%)
(f) 教師・保護者以外の人や外部機関が 学校を評価するしくみ(無回答 20) →	1 (34.4%)	2 (48.0%)	3 (14.5%)	4 (3.0%)

問 28 あなたのお家で**現在利用している・利用したことがある**保育施設・保育サービスすべてに○をつけてください。どれも利用したことのない方は、「12.いずれも利用したことはない」に○をつけてください。(無回答 9)

- | | | | |
|------------------------|------------------|----------------------------|---------------|
| 1.区立保育園 22.5% | 2.認可の私立保育園 13.7% | 3.公立幼稚園 7.1% | 4.私立幼稚園 45.5% |
| 5.認証保育所 9.8% | 6.事業所内保育施設 1.7% | 7.保育ママ 3.3% | 8.保育室 6.7% |
| 9.無認可保育施設 9.6% | 10.ベビーシッター 12.8% | 11.「ふれあい子育て」(社会福祉協議会) 6.3% | |
| 12.いずれも利用したことはない 17.4% | | | |

問 29 あなたのお家で**これから利用を希望する・今後も利用を希望する**保育施設・保育サービスすべてに○をつけてください。お子さんが大きい方は、「12.いずれも利用する予定はない」に○をつけてください。(無回答 10)

- | | | | |
|------------------------|------------------|----------------------------|---------------|
| 1.区立保育園 19.1% | 2.認可の私立保育園 10.9% | 3.公立幼稚園 11.1% | 4.私立幼稚園 29.5% |
| 5.認証保育所 5.9% | 6.事業所内保育施設 2.2% | 7.保育ママ 2.7% | 8.保育室 4.0% |
| 9.無認可保育施設 3.0% | 10.ベビーシッター 9.9% | 11.「ふれあい子育て」(社会福祉協議会) 6.0% | |
| 12.いずれも利用する予定はない 42.1% | | | |

問 30 あなたのお家で、お子さんの幼稚園・保育園を選ぶ際に、重視する・重視した点はどれですか。あてはまる番号に**3つまで**○をつけてください。お子さんの大きい方は、当時を思い出して、お答えください。(無回答 8)

- (○は3つまで)
- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1.待たずに入れる、あるいは確実に入れる | 19.4% |
| 2.自宅から近くにある | 71.0% |
| 3.職場から送り迎えしやすい場所にある | 14.4% |
| 4.英語学習など幼児教育の内容が充実している | 8.9% |
| 5.自然食材など子どもの健康への配慮がしっかりしている | 10.1% |
| 6.保育時間を希望にあわせて設定できる | 11.7% |
| 7.職員の手配や運営方針がよい | 60.0% |
| 8.施設や設備環境が良い | 32.8% |
| 9.費用が手ごろ | 18.7% |
| 10.仲の良いお母さんが子どもを通わせている(通わせる予定) | 5.3% |
| 11.地域での評判が良い | 25.7% |
| 12.国立・私立小学校受験に有利 | 2.8% |
| 13.制服のデザインが良い | 0.6% |

問 31 以下の質問について、それぞれについて、あてはまる番号にひとつだけ○をつけてください。なお、配偶者(夫)がいらない場合は「あなた」の欄だけお答えください。

	あなた	配偶者(夫) (非該当 87)
(1) 最後に卒業した学校はどちらですか。 【○はひとつ】	1.中学校 1.0% (無回答 13) 2.高校 16.6% 3.短大・高専 39.0% 4.大学・大学院 43.4%	1.中学校 1.1% (無回答 17) 2.高校 14.4% 3.短大・高専 8.9% 4.大学・大学院 75.5%
(2) 現在どのような形で働いていらっしゃいますか。 【○はひとつ】	1.自営業・家族従業者 8.5% (無回答 8) 2.会社経営者・役員 0.5% 3.フルタイム(常勤)の被雇用者 18.2% 4.アルバイト・パートタイマー 20.6% (派遣・契約社員・嘱託を含む) 5.現在は仕事をしていない 52.2%	1.自営業・家族従業者 19.8% (無回答 7) 2.会社経営者・役員 7.7% 3.フルタイム(常勤)の被雇用者 70.2% 4.アルバイト・パートタイマー 1.6% (派遣・契約社員・嘱託を含む) 5.現在は仕事をしていない 0.7%
(3) 現在ついている仕事の種類は、大きく分けてつぎのどれにあたりますか。 【○はひとつ】	1.専門職 17.0% (無回答 11) (教員、個人教師、弁護士、医師、看護師、芸術家、スポーツ選手、宗教家、技術者など) 2.管理職 1.9% (課長以上の管理職、会社役員、議員、職長など) 3.事務職 17.1% (総務・企画事務、経理事務、情報機器のオペレーター、校正など) 4.販売職 5.0% (小売店主、販売員、外勤のセールスマン、外交員など) 5.生産工程・労務職 0.8% (大工、家具職人、工場作業員、建築作業員、清掃員、トラック運転手など) 6.サービス職 5.8% (料理人、美容師、クリーニング職、ウエイトレス、家政婦、タクシー運転手など) 7.保安職 0.2% (警官、自衛官、守衛など) 8.農林漁業従事者 0.0% 9.現在は仕事をしていない 52.2%	1.専門職 25.9% (無回答 33) (教員、個人教師、弁護士、医師、看護師、芸術家、スポーツ選手、宗教家、技術者など) 2.管理職 33.0% (課長以上の管理職、会社役員、議員、職長など) 3.事務職 17.1% (総務・企画事務、経理事務、情報機器のオペレーター、校正など) 4.販売職 9.6% (小売店主、販売員、外勤のセールスマン、外交員など) 5.生産工程・労務職 6.1% (大工、家具職人、工場作業員、建築作業員、清掃員、トラック運転手など) 6.サービス職 6.7% (料理人、美容師、クリーニング職、ウエイトレス、家政婦、タクシー運転手など) 7.保安職 1.4% (警官、自衛官、守衛など) 8.農林漁業従事者 0.2% 9.現在は仕事をしていない 0.7%
(4) 昨年の年収は税込みでいくらくらいですか。 【○はひとつ】	1.なし 51.9% (無回答 17) 2.103万円未満 18.7% 3.103～200万円未満 5.7% 4.200～400万円未満 8.4% 5.400～600万円未満 7.9% 6.600～800万円未満 4.9% 7.800～1000万円未満 1.1% 8.1000～1200万円未満 0.5% 9.1200～1400万円未満 0.2% 10.1400～1600万円未満 0.1% 11.1600万円以上 0.6%	1.なし 0.3% (無回答 49) 2.103万円未満 0.7% 3.103～200万円未満 0.9% 4.200～400万円未満 10.8% 5.400～600万円未満 19.1% 6.600～800万円未満 21.2% 7.800～1000万円未満 15.9% 8.1000～1200万円未満 13.5% 9.1200～1400万円未満 6.4% 10.1400～1600万円未満 4.0% 11.1600万円以上 7.1%

問 82 あなたは以下の各時点でお仕事をなさっていましたか、それぞれあてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。

(1) 結婚する前 (無回答 12)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 働いていなかった 1.9% | 2. フルタイムで就業 86.9% |
| 3. パートタイムで就業 7.7% | 4. 自営業で就業 3.5% |

(2) 結婚直後 (無回答 14)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 働いていなかった 29.6% | 2. フルタイムで就業 49.7% |
| 3. パートタイムで就業 16.2% | 4. 自営業で就業 4.4% |

(3) 最初の子どもを出産した1年後 (無回答 39)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 働いていなかった 70.3% | 2. フルタイムで就業 19.6% |
| 3. パートタイムで就業 4.9% | 4. 自営業で就業 5.2% |

→利用した制度すべてに○を
してください(非該当 1503 無回答 6)

- | |
|----------------------|
| 1. 産前・産後休業制度 85.6% |
| 2. 育児休業制度 75.6% |
| 3. 育児時間短時間勤務制度 37.7% |
| 4. どれも利用しなかった 10.8% |

問 83 あなたは仕事をする事について、現在どのようにお考えですか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(無回答 24)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. できればフルタイムで働きたい (働き続けたい) 27.0% |
| 2. できればパートタイムで働きたい (働き続けたい) 43.6% |
| 3. できれば自営業で働きたい (働き続けたい) 12.5% |
| 4. できれば仕事は持ちたくない 16.8% |

→16 ページの間 35 へ

問 84 現在働いている方と、これから働くことを希望なさっている方にお聞きします。
あなたが仕事を続けている理由、あるいはこれから仕事をしたい理由はなんですか。もっとも近い番号にひとつだけ○をつけてください。(非該当 331・無回答 17)

(○はひとつだけ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 働けるのが自分ひとりだから 4.6% |
| 2. 夫の収入だけでは、生活できないから 9.4% |
| 3. 増大する家計 (教育費、住宅費など) に対応するため 30.3% |
| 4. 将来に備えて貯蓄するため 8.4% |
| 5. 自分自身の収入を確保するため 10.8% |
| 6. 心の健康や張りあいのため 14.5% |
| 7. 自己実現のため 11.0% |
| 8. 社会との繋がりを確保し、社会に貢献するため 11.2% |

問 85 あなたの夫のお仕事についてお聞きします。夫がいっしょに働かない場合、あるいは夫がお仕事をなさっていない場合は、問 88 にお進みください。

(1) あなたの夫のお勤め先 (会社) 全体では、おおよそ何人くらいの人が働いていますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(非該当 99・無回答 49)

- | | | |
|--------------------|------------------|------------------|
| 1. 1人 (従業員なし) 5.8% | 2. 2~29人 20.4% | 3. 30~299人 21.4% |
| 4. 300~999人 12.1% | 5. 1000人以上 34.9% | 6. 官公庁 5.5% |

(2) あなたの夫のお仕事は、雇用期間がどのように定められていますか。(非該当 99・無回答 101)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 雇用期間を特に定めなかつた雇用の雇用 94.8% |
| 2. 1年を超え5年以内の雇用期間を定めての雇用 2.4% |
| 3. 1ヵ月を超え1年以内の雇用期間を定めての雇用 2.5% |
| 4. 1ヵ月以内の雇用期間を定めての雇用 (日雇いを含む) 0.3% |

(3) あなたの夫の1週間の合計労働時間はどのくらいですか (残業時間も含まれます。わからない場合には、おおよそでお答えください)。(非該当 99・無回答 89)

平均
週 58.9 時間

(4) あなたの夫のお勤め先まで、ご自宅からどれくらい時間がかかりますか。普段利用している交通手段でかかる時間 (分) をお答えください (勤務先がご自宅の場合は「0」分とご記入ください)。(非該当 99・無回答 44)

平均
46.9 分

(5) あなたの夫はお勤め先からの帰宅時間が、午後9時以降になる日は、週にどのくらいありますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(非該当 99・無回答 46)

- | | | |
|-----------------|------------------|------------------|
| 1. ほぼ毎日 44.4% | 2. 週に4日くらい 12.2% | 3. 週に3日くらい 11.6% |
| 4. 週に2日くらい 8.0% | 5. 週に1日くらい 8.4% | 6. めったにない 15.4% |

(6) あなたの夫は、初めて職についてから、何回転職しましたか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。(非該当 99・無回答 41)

- | | | |
|---------------------|-----------------|------------------|
| 1. 一度も転職していない 53.2% | 2. 1回転職した 20.7% | 3. 2回転職した 11.8% |
| 4. 3回転職した 6.4% | 5. 4回転職した 3.3% | 6. 5回以上転職した 4.5% |

問 86 あなたご自身のお仕事についてお聞きします。現在働いている方のみ、お答えください。

- (1) あなたは、今のお勤め先あるいは自営業の仕事で、何年働いていらっしゃいますか（6ヶ月以上の場合は1年、6ヶ月未満の場合は0年として計算してください。例えば、3年4ヶ月の場合は「3」年、3年7ヶ月の場合は「4」年とご記入ください）。（非該当 967・無回答 51）

平均
7.1 年

- (2) あなたのお勤め先（会社）全体では、おおよそ何人くらいの人が働いていますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。（非該当 967・無回答 53）

1. 1人（従業員なし）7.2% 2. 2～29人 32.4% 3. 30～299人 23.3%
4. 300～999人 10.7% 5. 1000人以上 20.4% 6. 官公庁 5.9%

- (3) あなたのお仕事は、雇用期間がどのように定められていますか。（非該当 967・無回答 71）

1. 雇用期間を特に定めなにかたちの雇用 78.0%
2. 1年を超え5年以内の雇用期間を定めての雇用 4.0%
3. 1ヵ月を超え1年以内の雇用期間を定めての雇用 17.1%
4. 1ヵ月以内の雇用期間を定めての雇用（日雇いを含む）0.8%

- (4) あなたのお勤め先の1週間の合計労働時間はどのくらいですか（残業時間も含まれます）。（非該当 967・無回答 66）

平均
31.2 時間

- (5) あなたのお勤め先は、世田谷区内ですか。（非該当 967・無回答 66）

1. はい 50.5%
2. いいえ 49.5%

- (6) あなたのお勤め先まで、ご自宅からどれくらい時間がかかりますか。普段利用している交通手段でかかる時間（分）をお答えください（勤務先がご自宅の場合は「0」分とご記入ください）。（非該当 967・無回答 53）

平均
30.1 分

- (7) あなたはお勤め先からの帰宅時間が、午後9時以降になる日は、週にどのくらいありますか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。（非該当 967・無回答 53）

1. ほぼ毎日 1.6% 2. 週に4日くらい 1.2% 3. 週に3日くらい 2.5%
4. 週に2日くらい 3.9% 5. 週に1日くらい 5.6% 6. めったにない 85.2%

- (8) あなたのお勤め先には以下のような制度や施設がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。いずれの制度・施設もない場合は、「14.制度・施設はない」に○をつけてください。（非該当 967・無回答 74）

1. 産前産後休業（産休） 48.8% 2. 育児休業（育休） 45.6% 3. 介護休業 30.3% 4. 看護休暇 21.8%
5. 半日有給休暇 34.2% 6. 事業所内保育施設 4.8% 7. 契約保育施設 2.3% 8. 短時間労働 24.2%
9. フレックスタイム 12.1% 10. 在宅勤務 6.6% 11. 再雇用 13.5% 12. 地域限定勤務 4.1%
13. フルタイムとパートタイムの転換 11.9% 14. 制度・施設はない 17.4%

- (9) あなたは初めて職についてから、何回転職しましたか。あてはまる番号に、ひとつだけ○をつけてください。（非該当 967・無回答 48）

1. 一度も転職していない 27.7% 2. 1回転職した 20.4% 3. 2回転職した 17.4%
4. 3回転職した 13.0% 5. 4回転職した 9.3% 6. 5回以上転職した 12.2%

以上で質問は終わりです。

調査にご協力いただき、まことにありがとうございました。